

「遊々の森」産土（うぶすな）の森での林業体験

三陸中部森林管理署では、平成15年から大船渡市立末崎中学校と「遊々の森」の協定を締結し、生徒が林業体験を行うため「産土の森」と名付けたフィールドを活用した森林整備活動を通じ「森林と海との関わり」について、生徒の皆さんに理解を深めていただく取組を支援しています。

林業体験に先立ち、令和3年6月15日に当署職員が講師として中学校へ出向き、「森林整備の必要性」や、「現地作業での注意点」等を説明するなどの事前学習を実施しました。



「森林の働きと私たちの生活」



「海を育む森林づくり」



「作業についての説明」

また、7月2日の林業体験では、大船渡市末崎国有林において3年生の生徒23名が事前学習で学んだ植付・保護チューブ設置作業や下刈を実際に体験しました。



開会式の様子



苗木保護チューブ設置の様子



下刈の様子